

# 公民館 ニュース

利根町中央公民館  
☎ 三三二六三

## 文化遺産を永久保存 —長年の夢実る—

◀資料館前で行われた開館式



### 利根町立歴史民俗資料館開館

開館式 11月6日 午前10時



▶展示室内部

利根町は古くから文化の開けた地域として、花輪台貝塚立木貝塚等考古学上重要な遺跡をもち、中世には延喜式内社姫御神社を中心として下総北辺の要地となり、近世に至り利根川の開削に伴い、舟運の河岸宿場町として繁栄し、一茶・北齊はじめ文化人の来遊する事多く、郷土史家赤松宗且による利根川図志の編纂は貴重な資料遺産であり、近代に於ける柳田民俗学の発生の地でもあります。

近年、開発の急進により地域の文化財・民具等の破壊散逸する現状に対し、地域の生活文化の記録保存の急務であること共に、新規住民にも新しい「ふるさとづくり」の中で歴史をもった町民として地域の発展に寄与していただきたいと思っています。

概要

・所在地  
利根町大字中谷九六七番地  
(中央公民館敷地内)

・構造  
鉄筋コンクリート造り

・平屋建て、水塚様式

・建築面積  
三四三、九三四平方メートル

・延床面積  
三二一、一六〇平方メートル

・展示室取積  
二六五、六八〇平方メートル

・工事費総額  
八〇、二七二、〇〇〇円

・収集活動

十年前の郷土史編さん事業の開始と同時に文書資料の収集に併せて民俗文化財の収集活動を住民に呼びかけるとともに、中央公民館を中心に遺跡、埋蔵文化財の確認、寺院等建築物の文化財調査を年次的に行ってきた。

その結果、埋蔵文化財、民俗資料、民具等三五〇点、古

文書一九、〇〇〇点が寄託されています。

利根町の貝塚から発掘された土器や土偶は、縄文時代のものも多く、日本最古の土偶など、考古学上、大変貴重なものであるが、持ち去られたり、古墳群も宅地造成などで壊滅した所が少なくない。それだけに、こうした郷土の文化遺産を展示し、永久保存のできる資料館が完成したことは大変喜ばしいことであります。

学習活動

常設展示の他、寄託資料の企画展示、近隣博物館・資料館等との交換展示も行うことが予定されています。

小中学校の「ゆとり」教育の中でふるさとを知る学習活動への協力、専門的な成人講座の中央公民館事業との共催がより充実でき、生涯教育体制の充実が期待されています。

開館日と時間  
○開館日(週五日)  
水曜日・日曜日まで  
(月曜日、火曜日は休館)  
○時間  
午前九時三十分  
午後三時三十分

## とねまち プレイバック

昭和 57 年  
11 月発行  
広報とね

### とねまちプレイバック

昭和57年11月に発行された「広報とね」に、公民館ニュースとして「文化遺産を永久保存—長年の夢実る—」という記事が掲載されていました。

記事には、「利根町立歴史民俗資料館開館」というタイトルと写真が載せられており、開館式には多くに人が来場し、町に残る文化遺産を永久保存できる歴史民俗資料館の開館を祝ったようです。

展示品の収集は、郷土史編さん事業と同時に開始され、住民への呼びかけや、遺跡、埋蔵文化財の確認、寺社などの文化財調査を行い29350点が寄託されました。

現在、歴史民俗資料館には、土器の破片や地固め唄資料、勝海舟揮毫の「東文間学校」額、利根町百景コーナーでご紹介したねこかっぱ像が飾られるほか、展示ホール中央には、利根川でさまざまな物資を運搬した「高瀬舟」の5分の一の模型が展示されています。ぜひ利根町の歴史に触れてみてください。

人口と世帯 (令和8年5月1日現在)

総人口	15,472人	(- 35)
男性	7,703人	(- 14)
女性	7,769人	(- 21)
世帯数	8,034世帯	(- 10)

( )内は前月比

【6月の納税等】 ※納期限および口座振替日は6月30日です。

町・県民税：1期 介護保険料：2期